



## 「ほめる」と「しかる」こと

(※以下は、以前私が学級担任として、児童や保護者に向けて話した内容です。)

教師という仕事をするにあたって、大切だと思うことを1つだけあげなさいと言われてたら、私は、「公平性」と答えます！受け持ちの子供に対するひいきや差別のない公平な態度こそ、教員にとって最も大切なことであり、その公平さを支える基準を見失わないための努力が必要だと考えています。

そのために日々自らを振り返ることはもちろんですが、自分の考えや活動の情報を保護者等に常に開き、交流を持ち、多くの批評の中に常に身を置くことが必要だと思っています。

教師は、子供たちを、あるときはほめ、あるときはしからなければなりません。この、ほめることとしかることに対する姿勢が重要です。

ほめるのは、すばらしいときだけです。すばらしければ必ずほめます。学習活動においては、その都度、目標となる明確な基準を提示して公平に評価します。評価は子供たちに確実に届き、励みになるように方法を工夫します。ときには、教育的な配慮からほめることが必要な場合もありますが、基本的には、その子の出した結果や具体的な行動のすばらしさをほめます。すばらしいからこそ、ほめられるとうれしいのです。

次に、しかることについてです。人間は一人では生きてはいけません。多くの人々が寄り添い、支え合って生活しています。それが社会です。社会の中で個人が尊重されることはもちろん大切ですが、それは、社会をこわしたり、乱したりするものであってはいけません。多くの人間でつくりだされている社会を守っていくためには、ルールと、それを守ることの大切さを個人個人が自覚することが必要です。学級や学校も、一つの社会です。しかるのは、社会を守るためです。その子供のためということだけではありません。ルールに問題があれば、積極的に改善を働きかける勇気も時には必要ですが、ルールをやぶるのは、勇気でも自由でもありません。社会の中において、自分もルールによって守られていることが理解できない者の甘えです。

しかられる人も大切な社会の一員ですから、個人を責めるためにしかるのではありません。誰でも、その行動や言動が正義に反しているとき、公平にしからなければならないのです。その人の顔を見てしかるのではなく、それが誰であろうと、しかるべきときにしかるのです。それが公平なものであれば、反省と改善に努めてください。あやまちには誰にでもあります。反省と改善が行われれば、以後、過去のあやまちが責められることがあってはいけません。すべての瞬間に、全員が公平な正義の中で評価されるべきです。

あやまちを繰り返さない、あるいは、未然に防げるような正しい判断力を身に付け、皆が「正義」という共通の価値観に基づいてお互いにルールを守り、協力して支え合えるような、本当に自由な学級づくりを目指します。

## 現代的課題と持続可能な教育

前述のように「本当に自由な」学級・学校づくりを目指す気持ちは今も変わりません。

しかし、当時と比べると現在は、社会の急激な変化に伴い、全国的に見ると『保護者の価値観の多様化、少子化、子供の貧困、不登校、多様な教育機会の保障、LDやADHD、特別支援教育・合理的配慮、日本語の不自由な外国籍の子供、異なる価値観を持つ少数の子供、学力の個人差、優れた能力を伸ばす教育』など、学校には教え切れないほどの現代的課題の波が押し寄せています。一昨日にニュースで報じられた、高知県での『保護者の担任への不満が間違った形でエスカレートし、恐喝で懲役求刑』など、現代的課題の中でも、学校教育の土台であるはずの保護者と学校との信頼関係を根底から覆すような、何よりも子供にとって悲しい事案も多発しています。そんな中でも、義務教育や学校制度そのものの改革はほとんど行われていません。

報道等では、担任個人の力量不足を指摘する声を耳にすることもあります。不祥事は論外ですが、どの学校でも担任は一人で学級を任せられ、日々真剣に学級の課題と向き合っていますし、担任もただの人間であり、報道等での論調の中には、教員の職務に対して過剰な要求ではないかと感じるものもあります。

郡山小学校でも、今後いくつかの現代的課題への対応を迫られる可能性はあります。その際には、学校はチームとして全職員で協力して担任を支えながら、PTAや外部機関等との連携も含めて対応して参ります。また、今後も学校や担任へ寄せられる声を謙虚に受け止め、改善に向けて組織として迅速な対応に努めて参りますが、多くの現代的課題の中で学校教育を持続可能なものとしていくためには、個々の課題への対応における保護者の皆様との前向きな連携・協力が欠かせません。

学校は今後も、保護者の皆様のお力をいただきながら、一人一人の子供を大切に、担任を中心として、保護者の皆様との情報共有と共通理解に努めて参ります。

..... 切り取り線 .....

※学校への御意見・御要望・校長に知らせたいこと など  
2021年5月14日 ( )年 ( )組 児童氏名